

おおあらい

Vol.436



■水揚げされたハマグリを選別作業（出荷するための重要な作業です。）

特集

平成20年度予算 P.2～5

Index

- 町職員人事異動 P.6・7
- くらしの情報 P.8～10
- 大洗海の大学／夢town大洗 P.11
- まちのできごと P.12・13
- みんなのひろば P.14・15

4

2008

施政方針（要約）

平成20年度の大洗町は、北関東自動車道の整備や茨城空港の開港により入り込み客の更なる増加が期待されており、これらの受皿となるよう積極的に観光振興に取り組みます。



港湾については、内航フェリーと国際クルーズ港としての港づくりを進めます。

大洗町の産業は、今後も観光を中心に各産業が連携していくことが重要です。そのためには、眠っている地域資源の掘り起こしが大切であり、中小企業地域資源促進法などを活用して、新たな商品づくりや地域資源の利活用に努めます。

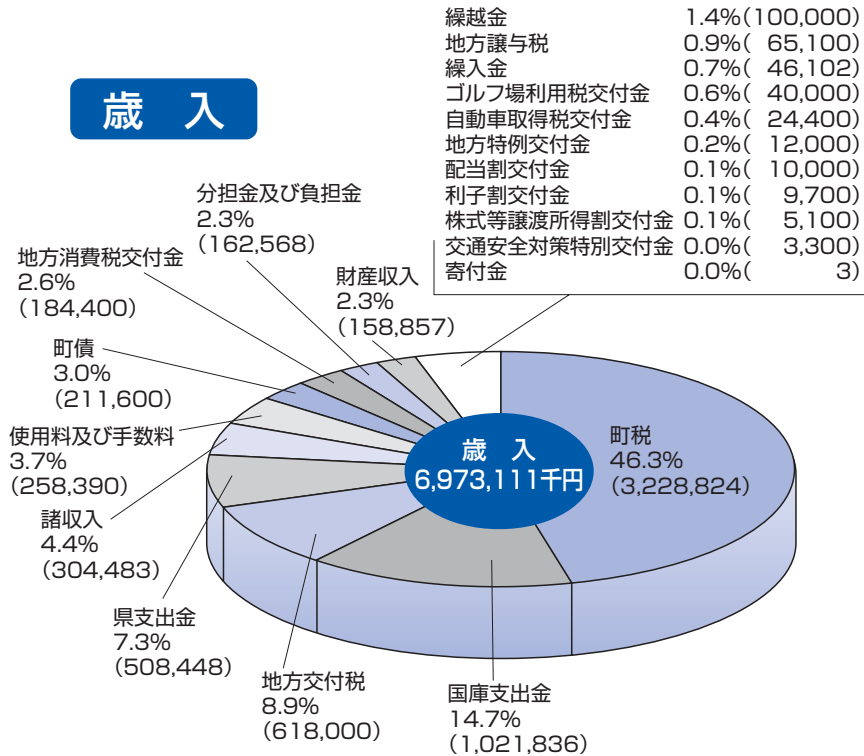
また、少子化対策や子育て支援に意を用いて、若い人達が恵まれた環境の中で、大洗町に住んで子育てがしたいと思える環境づくりに力を注ぎます。

厳しい財政環境ではありますが、引き続き行財政改革を進めるとともに、町民一人ひとりが将来に夢が持てるように、対話と協働のまちづくりを進めます。

まちづくり

9,861万8千円

歳入



会計別予算額

会計名	金額	増減(昨年度比)
一般会計	69億7,311万1千円	2.9%
特別会計	50億2,550万7千円	△22.3%
特会内訳	—	—
国民健康保険特別会計	22億6,036万4千円	△1.6%
後期高齢者医療特別会計	1億8,342万3千円	皆増
老人保健特別会計	1億7,567万8千円	△90.3%
介護保険特別会計	10億9,849万5千円	0.7%
地方卸売市場事業特別会計	531万7千円	1.1%
公共下水道事業特別会計	5億6,270万円	7.8%
墓地事業特別会計	1,512万3千円	△24.7%
公平委員会特別会計	770万円	3.2%
水道事業会計	7億1,670万7千円	0.9%
合計	119億9,861万8千円	△9.4%

予算編成の基本方針（施政方針より要約）

「歳入」

町税収入で1億9,035万2千円の増収が見込まれています。

地方交付税は、新たに地方再生対策費が基準財政需要額に加算されますが、税収の増加により基準財政収入額がこれを上回ったため、5,400万円の減となりました。

「歳出」

国庫支出金は、第2保育所の民営化に伴う国庫負担金やリサイクル研究開発促進交付金に代わる新しい交付金が創設され、8,108万9千円の増です。

財産収入では、町有地の売却により6,078万4千円の増となっています。

将来に夢が持てる

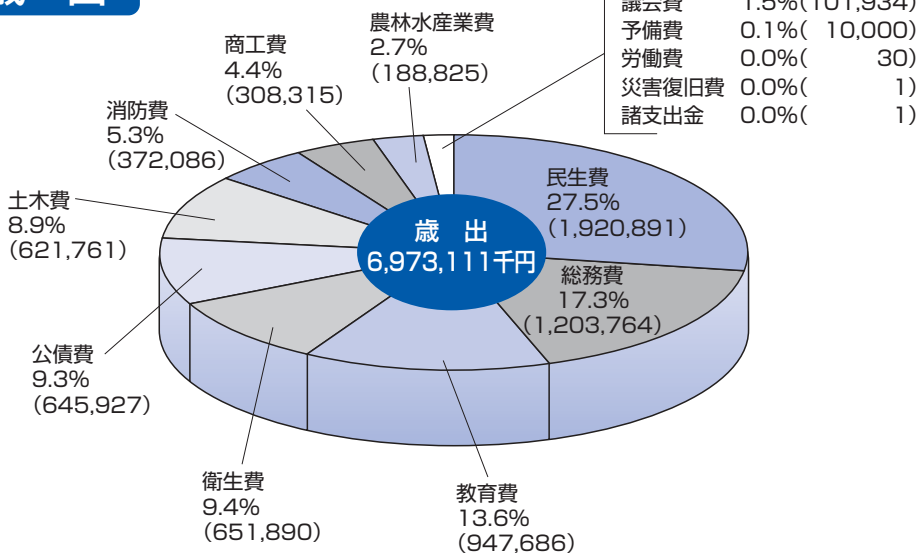
新年度予算119億

【歳出】

新行財政改革大綱に基づき、人件費3、114万8千円減等、経費の削減に取り組みながら、生活者の視点、特に子どもとお年寄りの視点を大切に、未来に希望が持て

一般会計歳入・歳出予算のあらまし ()は款の金額 単位は千円

歳 出



心豊かな優しいまち

医療福祉

インフルエンザ予防接種費

る地域社会を築いていくため、地域の活性化と、子育て支援や健康づくりの推進に力を注いでまいります。

用の一部の助成を、満3歳から就学前までとしていたものを、満3歳から中学3年生までに対象範囲を拡大しました。

また、保育園や保育所に3人以上子どもを通わせている家庭を支援するため、第3子以降の保育所入所児童及び幼稚園入園児童に対する保育料

を無料としました。

子育て家庭の家計負担を軽減するため、学校給食における給食費を小中学生の児童・生徒が2人以上いる世帯の保護者に対し、第2子の給食費の3分の1、第3子の給食費の3分の2、第4子以降については給食費の全額をそれぞれ助成します。

更には、妊婦が出産までに病院等で受ける健康診査料の一部助成の回数、県内の平均助成回数5回を、全国的にもトップ水準となる10回分まで助成します。

児童福祉

小学校低学年の児童の放課後の安全確保や、健全育成を図るための放課後児童健全育成事業や、放課後に小学校の余裕教室等を利用して実施する放課後子ども教室推進事業により、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを引き続き推進します。

高齢者福祉

地域包括支援センターを核として、特定高齢者、一般高齢者、介護認定者それぞれの

対象者の状態に応じた介護予防対策を実施し、高齢者ができるだけだけ要介護状態に陥らないよう、また、要介護の場合でも、その状態が悪化するのではないよう、健康づくりや介護予防などの生活支援を推進します。

障害者福祉

障害者自立支援法に基づき、支援サービスを提供するとともに、地域活動支援センターの運営を通して働く場の確保や、障がい者自身が生きがいを持って自立し、社会参加できるよう支援します。

健康・福祉の主な事業

○老人福祉事業	78,282千円
○障害福祉事業	261,062千円
○児童福祉	565,903千円
○医療福祉	109,080千円
○保健事業	61,930千円

人を育む元氣なまち

幼児教育

保育サービスの充実を図りながら絵本の読み聞かせを通して親子のふれあいを深め、小さいうちから本に親しんでもらうブックスタート事業など子育て支援を展開します。

学校教育

確かな学力の定着と豊かな人間性などの「生きる力」を育むために、小学校と中学校の連携を通して、子どもたちの実態に応じた指導の充実を図るための実践研究の推進を支援します。

また、構想に沿った小学校施設整備推進のため、既存の学校施設整備基金の積み増しを図り、さらに、学校給食の提供と食育の推進について、栄養バランスの取れた魅力ある学校給食の提供に努めるとともに、地元産の食材の利用を進めます。

生涯学習

町民一人ひとりの生涯学習

への関心が高まっている中で、「生涯学習の主役は町民」であることを基本に、多様化、高度化する学習ニーズに応えるため、リーダー研修や各種講座の開催による学習の場の確保、広報紙やホームページによる情報の提供を行い、学習に取り組みやすい環境の整備に努めます。

体験活動事業

カーフェリーを利用した北海道洋上体験学習事業や、栃木県茂木町の子どもたちとの海つ子山つ子交流事業を展開します。

さらに、子どもの居場所づくりについて、子どもたちの夏休みや週末における体験活動の場となるよう、地域の人々やNPO等による地域の特性を活かした居場所づくりへの取り組みを促進します。

スポーツの振興

町民が心身ともに健康で、明るく豊かで活力に満ちた地域社会が形成されるように、一人ひとりが生涯にわたって

気軽にスポーツに親しむことができる環境を整備するため、引き続き総合型地域スポーツクラブを支援します。

芸術文化

国内最大の文化・芸術の祭典「第23回国民文化祭・いばらき2008」が茨城県内の市町村を会場に開催され、当町では11月3日に大洗文化センターにおいて「現代詩大会」が開催されることとなり、特色ある大会を目指し準備を進めます。

生涯学習の主な事業

○特別教育支援員配置事業	7,981千円
○学校給食費補助	9,735千円
○学校施設整備基金積立	350,000千円
○第23回国民文化祭事業	4,262千円
○放課後子ども教室推進事業	3,886千円
○総合運動公園野球場修繕事業	5,000千円

やすらぎのある安心なまち

ごみ対策

有料指定袋製の導入以来、ごみの減量化、資源化が進んでおりますが、更なる分別収集の徹底や資源物の回収によるごみの減量化に努めます。

地球温暖化対策

地球規模での課題であるCO₂の削減については、地球温暖化問題を継続的に取り上げ、実態を検証しながら各組織、団体などの取組みに対して、持続的な社会構築への方向性を探り、温暖化対策に取り組めます。

本年は、地球温暖化対策元年と位置づけ、レジ袋の有料化や、ノーマイカーデーの実施など関係機関の協力のもとに、具体的にできることから推進します。

交通安全・防犯

高齢者や子どもの交通事故防止、飲酒運転の根絶を重点目標とし、交通安全啓発活動の推進及び交通安全施設の点

生活・環境の主な事業

○住み良いきれいな街づくり推進事業	6,038千円
○第7分団詰所改築工事	26,420千円
○第一指令車整備事業	3,582千円
○交通安全施設整備事業	3,871千円
○原子力防災通信ネットワーク整備事業	3,477千円

検整備等、安全な環境の整備に努めます。

地域、関係機関、団体等との連携の下、町内巡回パトロール等の防犯活動を進めながら、侵入犯罪・街頭犯罪の被害防止、詐欺や悪質商法被害の防止、児童・生徒の登下校時における安全対策を含めた自主防犯思想の普及啓発に努めます。

防災

自然災害においては、災害直後の初期活動が被害の軽減に大きな役割を果たすことが

ら、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の高揚を図りながら、引き続き自主防災組織の育成に努めていくとともに、関係機関との連携、初動体制及び応援体制の整備等、危機管理システムの構築を図ります。

消防・救急

多様化する救急業務に対応するための救急隊員の教育訓練や救命講習会等を通じて、救急救命法等の普及啓発に努めます。

また、医療機関の救急搬送患者受入れについても、円滑なる受入れが図れるよう医療機関との連携を強化します。

安全で暮らしやすいまち

上下水道事業

老朽化した施設への対応や石綿管の計画的な更新に努めるとともに、安全でおいしい水を安定的に供給します。

下水道事業では、桜道地区を中心に整備を進めるとともに、すでに区画整理事業が完了しコミュニティプラントにより汚水进行处理している五反

田地区や、和銅地区を公共下水道へ接続するため、認可区域の変更を計画します。

道路整備

安全で安心な町道環境を確保するため、町道等の改修事業及び日本原子力研究開発機構の外周道路の改良工事や、大貫町の同機構独身寮周辺道路の改良工事を引き続いて実施します。また、主要地方道大洗友部線の夏海地区バイパスの整備については、用地の買収に入る予定であり、引き続き整備促進について茨城県

都市整備の主な事業

○町道及び排水路整備事業	155,950千円
○松ヶ丘住宅建替基本構想策定事業	2,000千円
○東浜住宅外壁改修工事	13,000千円
○上水道配水設備改良事業	110,000千円
○下水道管渠整備	146,000千円

へ要望します。

港湾整備

県北三港（大洗港、常陸那珂港、日立港）統合に向けた、新たな港湾計画の中で、内航海フェリーと国際クルーズ港として対応できる機能の拡充を位置づけ、背後施設と一体となった賑わい空間の創出できる港となるよう努めます。

また、大洗港の背後地に、東京かねふくが来年9月に工場を併設した「からし明太子」のテーマパークとして営業することや、アウトレットの増床が決まりました。港湾活動と港湾地区の賑わいを町全体の賑わいになるよう努めます。



活気ある楽しいまち

観光・産業の振興

大洗港や、平成22年3月開港の茨城空港、高速道路網、そしてJRや大洗鹿島線をフルに活用して、地域の持つ魅力を更に高めながら、内外からの新たな観光客の受入に努めます。

地域経済の活性化を図るため、大洗町商工会等の産業支援機関と連携し、地元工業者の金融の円滑化や事業拡大を支援するとともに、大学、研究機関と町内企業との産学連携を推進し、既存企業の高付加価値やベンチャー企業の育成に努めます。

漁業の振興

漁業地場産品消費拡大事業として、しらすの付加価値を高めるため、しらすを船上でシャーベット氷に漬ける鮮度保持試験を実施します。

水産加工業

設備投資や原料魚購入のための制度資金の借り入れに対し、利子補給により支援するとともに、水産加工業の環境

産業・観光の主な事業

○年間イベント事業補助金	22,000千円
○海水浴事業	67,420千円
○中小企業事業資金自治金融保証事務	9,500千円
○水産加工業の振興	10,071千円
○生産調整推進対策事業	24,050千円
○新商品開発促進事業	395千円

対策を促進するため、水産加工施設の汚水処理に対して事業費の一部を補助する水産加工業振興対策事業を実施します。

農業の振興

大貫地区経営体育成基盤整備事業（ほ場整備）への支援を行うとともに、重量野菜から軽量野菜への転換を図るためのパイプハウス設置への支援（ニラ栽培）や、ハマボウフウを特産品化するための研究会への支援、関係者と連携して大洗町のサツマイモ「紅あずま」を使用したスイーツを開発するための支援を行います。

平成20年4月1日付け人事異動

■行政職

○課長級

新所属課	職 名	氏 名	前所属課	職 名
税 務 課	収納対策室長兼収納対策専門担当主査	田中 幸江	会 計 課	会計課長
福 祉 課	保育専門担当主査	谷村 広樹	議会事務局	議会事務局長
地籍調査課	地籍調査課長	藤枝 健	生活環境課	環境専門担当主査
健康増進課	健康増進課長	永山 光正	地籍調査課	地籍調査課長
会 計 課	会計管理者兼会計課長	正木 健司	税 務 課	収納対策室長兼収納対策専門担当主査
議会事務局	議会事務局長	高瀬 好典	健康増進課	健康増進課長

○課長補佐級

新所属課	職 名	氏 名	前所属課	職 名
住 民 課	課長補佐兼管理係長	関根 信也	住 民 課	管理係長
税 務 課	課長補佐兼収納対策係長	小沼 一夫	税 務 課	収納対策係長
生活環境課	課長補佐兼生活環境係長	小林 健	生活環境課	生活環境係長
農林水産課	課長補佐兼農政係長	関根 敦生	農林水産課	農政係長

○係長級

新所属課	職 名	氏 名	前所属課	職 名
総 務 課	主 幹	栗橋とみ子	国保・年金課	主 幹
財 務 課	財政係係長兼行財政改革推進室係長	磯崎 宗久	財 務 課	財政係長
税 務 課	係 長	倉田 雅子	都市建設課	係 長
	固定資産税係長	清宮 和之	税 務 課	係 長
	係 長	大部千亜紀	//	主 任
	係 長	松本 京子	//	主 幹
福 祉 課	社会福祉係長	大部 英俊	商工観光課	主 任
国保・年金課	係 長	佐藤 邦夫	国保・年金課	主 任
生活環境課	地球温暖化対策係長	米川 芳史	生活環境課	係 長
都市建設課	係 長	大久保雪子	都市建設課	主 幹
地籍調査課	地籍調査係長	美ノ辺 潔	生涯学習課	係 長
	係 長	川上 朱美	地籍調査課	主 幹
上下水道課	水道施設係長	田山 修	福 祉 課	社会福祉係長
	係 長	小滝 慎一	上下水道課	主 任
	係 長	佐々 貴吉	//	主 幹
農林水産課	係 長	近藤 礼子	農林水産課	主 幹
健康増進課	係 長	納 由美子	健康増進課	主 幹
生涯学習課	係 長	小松崎三津子	生涯学習課	主 幹

○一般職級

新所属課	職 名	氏 名	前所属課	職 名
総 務 課	主 任	関根亜紀子	福 祉 課	主 任
財 務 課	主任兼行財政改革推進室主任	関根 智樹	財 務 課	主 任
財 務 課	主事兼行財政改革推進室主事	田山 篤	財 務 課	主 事
生活環境課	主 事	清水 修平	総 務 課	主 事
都市建設課	技 師	橋本 一弘	総 務 課	技 師

○派遣職員

新所属課	職 名	氏 名	前所属課	職 名
福 祉 課	主任保育士	小沼 玲子	福 祉 課	第二保育所主任保育士
福 祉 課	主 幹	浅野 明子	福 祉 課	第二保育所主幹
福 祉 課	主 幹	阿部 幸子	福 祉 課	第二保育所主幹
福 祉 課	主 任	片桐 麻衣	福 祉 課	第二保育所主任
福 祉 課	主 任	鈴木 直美	福 祉 課	第二保育所主任

○新規採用職員

所 属 課	職 名	氏 名
町 長 公 室	主 事	関根 美佳
住 民 課	主 事	山縣明日香
税 務 課	主 事 補	坂田 智明
福 祉 課	主 事	小竹森和美
国保・年金課	事 務 補	浅野絵美莉
上下水道課	主 事	大貫 倫央
商工観光課	主 事	坂本 武蔵
生涯学習課	主 事	小島 良浩
生涯学習課	主 事	夢沼香未由

■消防職

○課長補佐級

新職階級名	氏 名	前職階級名
副署長消防司令	平山 順一	副署長兼第一中隊長消防司令
副署長消防司令	庄司 政夫	副署長兼第二中隊長消防司令
第一中隊長兼救急小隊長消防司令	菅谷 惣衛	第二中隊長救急小隊長消防司令
第二中隊長兼救急小隊長消防司令	山本大二郎	第一中隊長救急小隊長消防司令

○係長級

新職階級名	氏 名	前職階級名
第一中隊小隊長消防司令	清光院源次	第二中隊小隊長消防司令
第二中隊小隊長消防司令	松澤 洋治	第一中隊小隊長消防司令

○一般職級

新職階級名	氏 名	前職階級名
消防課主任消防司令	内藤 彰博	第一中隊消防司令
消防課主任消防司令補	関 安雄	第一中隊消防司令補
第一中隊副班長消防司令	柳橋 芳男	第二中隊副班長消防司令
第一中隊消防司令	米川 英雄	第二中隊消防司令
第一中隊消防士長	大貫 有樹	第二中隊消防士長
第一中隊消防副士長	福田東一郎	第二中隊消防副士長
第一中隊消防副士長	米川 修市	第二中隊消防副士長
第一中隊消防士	小沼 信一	第二中隊消防士
第二中隊副班長消防司令	矢作 由之	第一中隊副班長消防司令
第二中隊消防司令	杉山 守正	消防課主任消防司令
第二中隊消防士長	二階堂 均	第一中隊消防士長
第二中隊消防副士長	一家 英晃	第一中隊消防副士長
第二中隊消防副士長	小野瀬秀聡	第一中隊消防副士長
第二中隊消防士	小沼 弘嗣	第一中隊消防士

○新規採用職員

所 属 課	職階級名	氏 名
消 防 課	消 防 士	高崎 真司
消 防 課	消 防 士	羽石 直城
消 防 課	消 防 士	荘司 勇貴

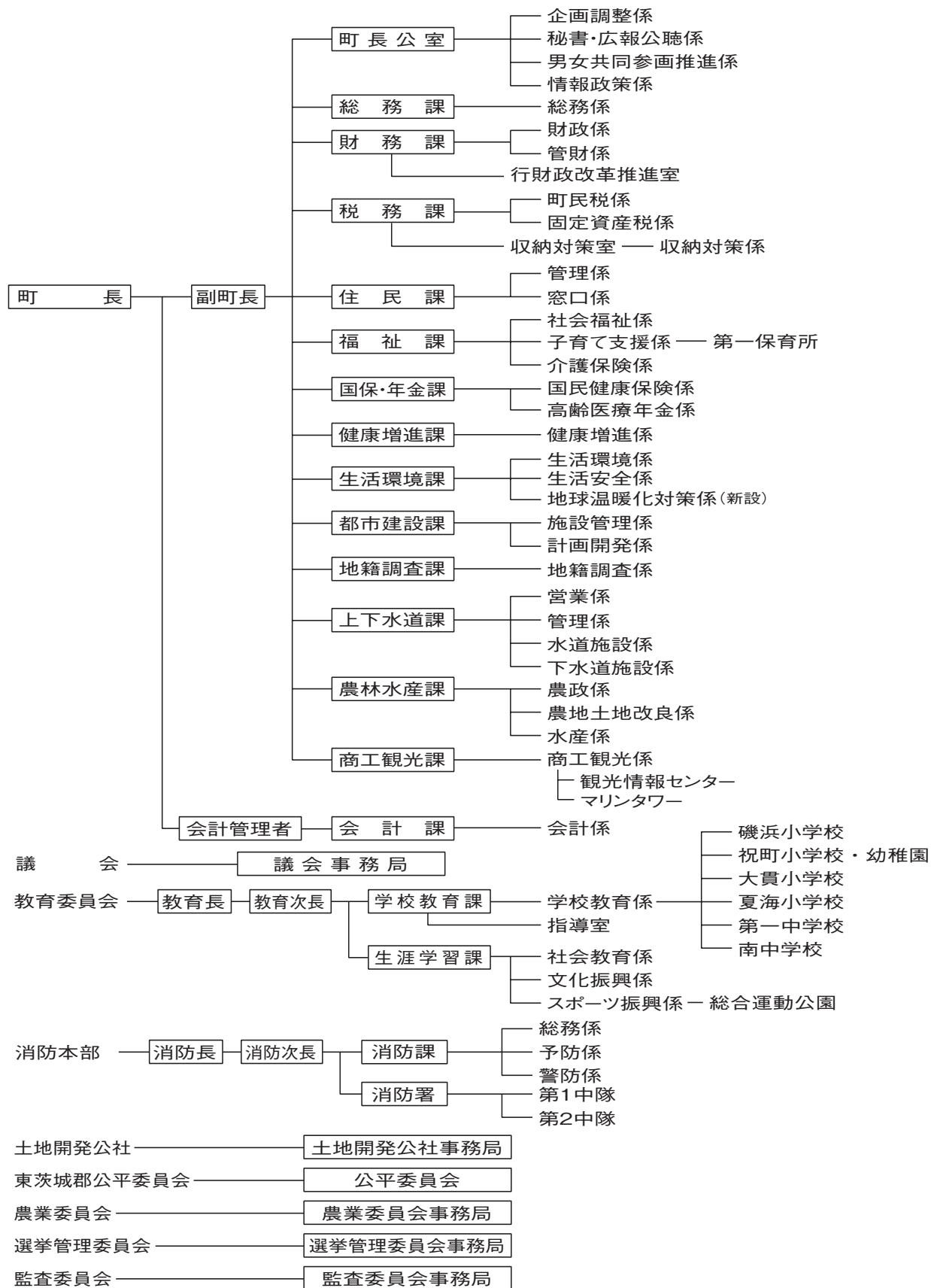
○平成19年度末退職者

所 属 課	職 名	氏 名
福 祉 課	福祉専門担当主査	三浦徳治郎
//	保育専門担当主査	江橋喜久雄
税 務 課	固定資産税係長	梅原 弘
//	係 長	丸山 妙子
地籍調査課	地籍調査係長	栗田 敏行
上下水道課	係 長	高橋ひさ江
学校教育課	調 理 師	高橋あさ子

大洗町行政機構図

組織の見直しとしては、環境基本計画及び地球温暖化防止活動実行計画を策定するなど、環境の保全を推進するために生活環境課内に地球温暖化対策係を新設いたします。

また、本年4月1日から運用が開始されます後期高齢者医療制度を所管する国保・年金課内に高齢医療年金係を昨年10月より設置しております。



GWのごみ収集日程

ゴールデンウィーク期間中のごみ収集業務は次の日程で行いますので、ご確認のうえお出してください。

近所の方の迷惑になりますので、収集日以外の日にごみを出すのはおやめください。

皆さんの協力できれいなまちづくりを。

問合せ／生活環境課（内線243）

4月28日（月）	東地区・可燃ごみ
4月29日（火）	休み（昭和の日）
4月30日（水）	休み（第5週目）
5月1日（木）	東地区・可燃ごみ
5月2日（金）	西地区・可燃ごみ
5月3日（土）	休み（憲法記念日）
5月4日（日）	休み（みどりの日）
5月5日（月）	休み（こどもの日）
5月6日（火）	休み（振替休日）
5月7日（水）	東地区・資源ごみ 西地区・不燃ごみ

「大洗かもめ保育園」に名称決定

平成20年4月1日から、社会福祉協議会の運営となる保育園（前第二保育所）の名称が「大洗かもめ保育園」に決まりました。

応募総数／110作品（応募対象：第二保育所の保護者）

採用者／中山 美穂 様（磯浜町）

採用理由／大海原を羽ばたく元気な姿であり、町の鳥でもあるため

新住所／大洗町港中央23番地

（登記の結果住所が変わりました）

問合せ／社会福祉協議会 ☎266-3021

妊婦健診についてのお知らせ

県内初！妊婦健診10回の公費負担開始

4月1日より、子育て支援として、妊婦健診の負担を軽減するため、県内のほとんどの市町村で5回の公費負担がはじまります。

大洗町でも、5回の予定でお知らせしたところでしたが、さらに負担を軽減するため、町独自に10回の公費負担を実施いたします。

補助額 1回目 …… 10,000円まで補助

2～10回目 …… 5,000円まで補助

補助額の上限額を超えた場合は自己負担となります。

※1回目につきましては初期検査などで費用がかかるため、10,000円までの補助となっています。

※大洗町に住民票がある方が対象となります。

※転入されて来た方は、転入前の市町村の受診券と交換いたしますので、保健センターまでお越しください。

問合せ／健康増進課 ☎266-1010



くらしの情報 INFORMATION

大洗町役場 ☎267-5111

医療福祉費制度のお知らせ

後期高齢者医療制度（75歳以上と一定の障害があると認定された65歳以上の方が加入する医療保険）の発足にともない、平成20年4月からは、65歳～75歳未満の方で、新たに、医療福祉費（通称「マル福」）制度の重度心身障害者に該当し、マル福の支給を受ける方については、後期高齢者医療制度の被保険者となる条件となります。（国保や会

社等の健康保険に加入したままではマル福は適用になりません。）

なお、3月以前から老人保健の適用を受けずにマル福を受給していた方については、経過措置として平成20年6月まではマル福を受けることができます。

※マル福制度は対象となる方の医療費の一部を町と県が助成する制度です。

問合せ／国保・年金課

（内線158）

ゆっくら健康館 屋内温水プールの再開

プール天井の一部落下により、全面張替え工事を行っていましたが、工事も完了し、3月20日より再開いたしました。

皆様にはご不便をおかけいたしました。今後ともご利用下さいますようお願いいたします。

問合せ／健康増進課 ☎266-1010



「森林湖沼環境税」にご協力ください

課税期間／平成20年4月から平成24年までの5年間

税率／個人：県民税均等割に年額1,000円を上乗せ

法人：法人県民税均等割に、資本金の規模に応じて
年10%を上乗せ

税収の使途／

▽森林の保全・整備

荒廃した森林の間伐、平地林・里山林等の保全、県産材活
用の推進、森林環境教育などを通じた県民意識の醸成

▽霞ヶ浦等湖沼・河川の水質保全

高度処理型浄水槽普及促進など生活排水対策の推進、農地
や市街地からの流出水対策の推進、市民活動団体の支援の
充実・意識啓発の強化

問合せ／課税の仕組み…県税務課 ☎301-2418

税収の使い道…

【森林】県林政課 ☎301-4021

【湖沼】県環境対策課 ☎301-2968

正しく定期的に 浄化槽の保守点検を

浄化槽は、微生物の働きで
汚水処理する排水処理施設
で、本来の機能を十分に発揮
させるため、浄化槽法により
家庭でも保守点検清掃・法定
検査を定期的に実施すること
が義務づけられています。
保守点検は、県知事登録を
受けた業者。清掃は、大洗・鉾
田・水戸環境組合の許可を受

けた業者に依頼してください。
また、法定検査は、県水質
保全協会に申し込んでください。
※点検・清掃・検査の時期や
回数などは、浄化槽の型式や
処理人数、処理方法などに
異なります。
問合せ／
町生活環境課（内線243）
県北地方総合事務所環境保全
課 ☎（221）3843
県水質保全協会
☎（227）4836

となりのまちから 第37回「笠間つつじまつり」

園内には、25品種約8,500株のつつじが植えられており、
最盛期には、小高い山一面が真っ赤に染まります。

ゴールデンウィークは、野点やお囃子の演奏など楽しいイベ
ントを開催します。皆様のお越しをお待ちしております。

会期／4月19日（土）～5月11日（日）

会場／笠間つつじ公園

入園料／大人：500円（高校生以上）

※中学生以下及び障害者は無料 ※団体割引（20名以上）2割引

問合せ／笠間市商工観光課 ☎0296-77-1101（内線511）

ご存知ですか？

身近なところに電源三法交付金は使われています

大洗町には、原子力の平和利用に寄与するための
原子力研究施設があることから、国から電源三法交
付金を受けています。

この交付金は、消防設備や、斎場火葬炉、消防分
団詰所、明神町地区幹線排水路などの整備・改築の
ための財源の一部として使われています。

人権相談

日時／4月17日（木）
10時～15時

場所／役場3階会議室

相談員／人権擁護委員

問合せ／町長公室

（内線212）

心配ごと相談

相談日／5月9日（金）

場所／ゆつくら健康館

時間／13時30分～15時

申込み／社会福祉協議会

☆在弁護士・要予約

申込み／社会福祉協議会

☎（266）3021

図書室

休室日／毎週月曜日

貸出時間／9時30分～

16時30分

新着本／「新・御宿かわせみ」

平岩弓枝 著／「靖国への帰

還」内田康夫 著

寄贈ありがとうございました

（2月）宮本 明さん

●大洗文化センター●

☎266-2442

月	日	曜	催 事 内 容	開始時間	開催場所	入場方法
4	20	日	アースデイのイベント （映画&長屋和哉ライブ）	12:30	ホール	有 料

町の人口と世帯 （2月末現在）

人 口	18,654人
男	9,229人
女	9,425人
世帯数	6,846世帯
転入	36人
出生	10人
転出	34人
死亡	24人

今 月 の 納 期

固定資産税
（第1期）

納期は4月30日ま
でです。

難病患者福祉手当支給制度をご利用ください!

平成20年4月から
新制度スタート

町では、平成20年4月から難病患者に対し、長期的な治療への経済的負担の軽減、及びその福祉の増進を図るために、難病患者1人につき月額3,000円の難病患者福祉手当を年2回（9月及び3月）支給します。

対象者／大洗町に住所を有する方で、茨城県から交付されている「一般特定疾患医療受給者証」、「小児慢性特定疾患医療受診券」、「先天性血液凝固因子障害等医療受給者証」をお持ちの方。

申請時に必要な書類／◇茨城県から交付されている「一般特定疾患医療受給者証」、「小児慢性特定疾患医療受診券」、「先天性血液凝固因子障害等医療受給者証」のいずれか。◇振込先の口座（難病患者本人の口座とし、郵便局・ゆうちょ銀行を除く）◇印鑑

※受給者証等の交付を受けていても、町に申請のない場合には手当は支給されませんのでご注意ください。

問合せ／福祉課社会福祉係（内線151、152）

表1 一般特定疾患対象疾病

番号	疾患名	23	ハンチントン病
1	ベーチェット病	24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）
2	多発性硬化症	25	ウェゲナー肉芽腫症
3	重症筋無力症	26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症
4	全身性エリテマトーデス	27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）
5	スモン	28	表皮水疱症（接合型及び栄養障害型）
6	再生不良性貧血	29	膿疱性乾癬
7	サルコイドーシス	30	広範脊柱管狭窄症
8	筋萎縮性側索硬化症	31	原発性胆汁性肝硬変
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	32	重症急性膵炎
10	特発性血小板減少性紫斑病	33	特発性大腿骨頭壊死症
11	結節性動脈周囲炎	34	混合性結合組織病
12	潰瘍性大腸炎	35	原発性免疫不全症候群
13	大動脈炎症候群	36	特発性間質性肺炎
14	ビュルガー病	37	網膜色素変性症
15	天疱瘡	38	プリオン病
16	脊髄小脳変性症	39	原発性肺高血圧症
17	クローン病	40	神経線維腫症
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	41	亜急性硬化性全脳炎
19	悪性関節リウマチ	42	バット・キアリ症候群（Budd-Chiari）
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	43	特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）
21	アミロイドーシス	44	ライソゾーム病
22	後縦靭帯骨化症	45	副腎白質ジストロフィー

表2 小児慢性特定疾患対象疾病

番号	疾患名
1	悪性新生物
2	慢性腎疾患
3	慢性呼吸器疾患
4	慢性心疾患（ただし、内科的治療のみ）
5	内分泌疾患
6	膠原病
7	糖尿病
8	先天性代謝異常
9	血友病等血液・免疫疾患
10	神経・筋疾患
11	慢性消化器疾患

表3 先天性血液凝固因子障害等対象疾病

番号	疾患名
1	第Ⅰ因子（フィブリノゲン）欠乏症
2	第Ⅱ因子（プロトロンビン）欠乏症
3	第Ⅴ因子（不安定因子）欠乏症
4	第Ⅶ因子（安定因子）欠乏症
5	第Ⅷ因子欠乏症（血友病A）
6	第Ⅸ因子欠乏症（血友病B）
7	第Ⅹ因子（スチュアートブラウア因子）欠乏症
8	第ⅩⅢ因子（フィブリン安定化因子）欠乏症
9	フォン・ウィルブラント病
10	第ⅩⅠ因子（PTA）欠乏症
11	第ⅩⅡ因子（ヘイグマン因子）欠乏症
12	血液凝固因子製剤の投与に起因するHIV感染症

◎40歳以上の被扶養者（加入者の扶養家族）の健診
お住まい又はその近隣の市町村に所在する医療機関又は検診車等で集団的に行う特定健康診査を受診していただくこととなります。
これまで市町村が実施していた集団健診、老人基本健康診査を受診していた方は、今後はこの特定健康診査を受診していただきます。

◎40歳以上の被保険者（加入者本人）の健診
新たに行うことになる特定健康診査より健診内容が充実している生活習慣病予防健診を、これまでどおり受診することをお勧めします。
生活習慣病予防健診を受診しない方は、事業所が行う定期健康診断又は特定健康診査を受診していただくこととなります。

茨城県社会保険事務所からの
お知らせ
政府管掌健康保険の健診の受診方法が変わります
平成20年4月から、保険者（健康保険を運営している国、市町村、健康保険組合、共済組合など）は、保険者の義務として、加入者を対象にメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を行うこととなります。
社会保険事務局（社会保険事務所）が発行する健康保険証をお持ちの被保険者とその被扶養者（いずれも40歳以上）である方々の健診は、平成20年4月からのようになります。

問合せ／
茨城社会保険事務局保険課
☎（302）3105

◎健診受診の申込方法、申込先、健診費用のうち受診者が負担する額などの詳細は、被保険者がお勤めの事業所を通じてお知らせします。

◎受診のお申込みは、被保険者、被扶養者分とも、被保険者が勤務している事業所を通じて行っていたこととなります。
特定健康診査を受診するためには、受診券が必要になりますので、受診のお申し込みをし、受診券の交付を受けていただく必要があります。

中学生が 職場体験



スタッフと一緒に働く中学生

今回から「声」をテーマに大洗海の大学の活動を紹介していきます。

大洗町の中学1年生2名が、海の大学で一日スタッフ体験をしました。後日、職場体験をした二人から手紙が届きましたので、感想をご紹介します。

「僕は、どんなことをするのか分からずドキドキしていました。でも、やることを聞いた時は、楽しそうだなと思いました。夏に使ったゴーグルなど毎年数を数えながらきれいに並べて、しまうのは大変だなと思いました。また、今年の夏の行事を考えると、どんなことをしたらいいか分からず自分がやりたいことをいったりしましたが、これを毎年考えるのは大変だなと思いました。」

「僕は今回の職場体験をするまで大洗海の大学というところが、冬の間にどういう仕事をしているのか、ほとんど知りませんでした。でも、今回その仕事を体験させていただいた事で、初めて夏に向けての計画立てや、スノーケリングなどの点検作業をしている事が分かり、それと同時に冬でもとても大変な仕事があるんだなあと感じました。そして、今回の体験をもとに、これからの生活・勉強に役立てたいと思います。」

4月春。学年も変わり新たなスタートの季節。海の大学も5年目を迎え、新たな気持ちで活動します。今年度はさらにワクワク、ドキドキする教室を開催していきますので、ぜひ遊びに来て下さい。

本校カリキュラム 4～5月

「貝あわせ教室」4月23日(水) / 「磯あそび教室」5月6日(祝)
／「旬の魚料理教室」5月10日(土)

NPO 法人 大洗海の大学

TEL 029-266-3322 FAX 029-267-5417
E-mail umi@anco-oarai.org URL <http://www.anco-oarai.org>

夢town大洗スポーツクラブからのお知らせ!

◎平成20年度総会及び講演会

日時 4月26日(土)
総会／14:00～ 講演会／15:00～ (入場無料)
場所 大洗文化センター(大ホール)
講師 黒岩 彰 氏
(元スピードスケート：カルガリーオリンピック銅メダリスト)
テーマ 「スポーツと私」
※一般の方も入場できますので、是非会場にお越し下さい。



夢town大洗スポーツクラブは、3月9日(日)に開催された生涯学習フェスティバルにおいて、スポーツ広場を開催しました。

大洗町体育指導委員会の皆さんの協力のもと、竹馬やフラフープ、スナッグゴルフの3種目を行い、参加した多くの皆さんは、それぞれの種目を楽しみながらさわやかな汗をながしました。



夢town大洗スポーツクラブ事務局
大洗町成田町1626 TEL・FAX 267-1515
受付時間／火曜日から土曜日 8:30～17:00



町と水戸署が連携

暴力団排除で協定

2月26日（火）、町発注の公共工事や町営住宅から暴力団を追放しようとして、町と水戸署が暴力団排除に関する協定を締結し、調印式を行いました。

これからは、町と警察が公共工事を請け負う業者や町営住宅の入居者が暴力団ではないか等の情報交換をしていくことが可能となります。3月1日より適用。

また、4月から、学校やホールなど公共施設から暴力団を排除する条例を制定しました。



協定書を交わした小谷町長（右）と助川署長

暮らしの中の 防犯対策 その2

近年、子どもを狙った犯罪が増えています。犯罪者は、登下校時や公園などの遊び場で、言葉巧みに子どもに接近します。子どもには、怪しいと感じたり、知らない人に声を掛けられたら、むやみについて行かないよう普段から繰り返し話しましょう。そうすることで、防犯や危険に対して回避する能力が高まります。

また、子どもを犯罪から守るためには、地域の大人たちの協力も大切です。身の危険を感じた時に駆け込める「子どもを守る110番の家」として、通学路周辺の民家や商店などが、緊急



避難先になるほか、1人で遊んでいたたり、暗くなるまで遊んでいる子には声を掛けたり、公園や子どもの周辺をうろつく不審者を見つけたら、110番通報するなど、地域ぐるみで防犯に心掛けて下さい。

3月17日（月）、広浦地区で工事が進められていた大洗町土地改良区による県営ほ場（水田）整備事業が完了し、記念碑除幕式と竣工式が行われました。

広浦地区の水田は、昭和初期に涸沼を埋め立てて造成した「干拓」でしたが、長年塩害・酸害などに苦しめられてきました。こうした問題を解決し、効率的な農業をするため、平成12年にほ場整備事業が着工され、受益面積115ha、地権者285人、総事業費15億4,700万円をもって完成しました。

記念碑除幕式の後の竣工式では、出席した関係者は改めて広浦地区の農業発展を誓い合いました。



記念碑除幕式

県営ほ場整備完成 記念碑除幕式及び竣工式

「浜っ子すこやか報奨金」初めての支給 — 少子化対策として最高10万円 —

3月13日（木）、役場庁舎で、浜っ子すこやか報奨金授与式が開催されました。

平成13年に町独自の少子化対策として「浜っ子すこやか報奨金」事業を開始して、第3子以上のお子さんが誕生したときから町で積み立てを行い、今年4月小学校に入学されるご家庭に初めて祝い金が支給されました。

今回の該当者は18名。授与式にはお子さんと保護者が出席し、小谷町長から「元気にがんばってください」と激励され、報奨金が手渡されました。



「大洗町浜っ子すこやか報奨金」の授与式